

# 地域の障がい者

# 施策を前へ

## 公 明

障がい者に寄り添い、希望を届け続ける公明党。それぞれの地域で課題に取り組み、支援策を前へ進めている。

### 進むコロナーの再編計画

愛知県



県心身障害者コロナーを視察する党愛知県議団ら

を訪れ、同コロナーの再編計画(2006~15年度)の進行状況などを聞くとともに、各施設を見て回った。これには、岡明彦同県副幹事長も同行した。

療育・医療・教育などを行う複合施設である同コロナーは、今年5月から建設中の「療育医療総合センター」(仮称)として再編される予定。計画によると、同センターは①濃厚な医療を必要とする重症心身障がい児(者)を対象に入所支援などを行う専門機関となる「医療支援部門」②短期療養型の入所施設となる「地域療育支援部門」③心身の発達障がい研究機関となる「研究部門」の3部門で構成され、総合的な支援を行う。また、再編計画では入所者の地域における生活の自立を実現するための地域生活移行も推進している。

安藤総長らは、施設入所者の地域生活移行の現状が約5割にとどまっていることを述べ、地域と連携して受け入れ先施設の拡充を促していきたいと話した。

一行は、充実した形で新たな施設のスタートが切れるよう意見を交わした。

公明党愛知県議団(小島文幸<sup>ひさゆき</sup>団長)はこのほど、春日井市にある県心身障害者コロナー(安藤久實<sup>ひさひさ</sup>総長)を視察する予定。計画によると、